

周布地区 タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和6年7月5日（金）19：30～21：00

【場 所】 周布公民館

【参加者】 地域：12人（周布地区連合自治会長など）、傍聴：1人
市：3人（市長、危機管理監、周布公民館長）

【テーマ】 1 水防(洪水)対策
2 路面標示の塗り直し
3 公民館の改築

概 要

参加者の発言要旨

市の発言要旨（及び対応）

1 水防対策

近年、大雨の際に崩口川が増水し、氾濫するのではないかと心配している。
5月下旬に大雨が降った時も、もう1日長く降り続けていたら、氾濫していたと思う。
国や県と連携して、総合的に対策を講じてほしい。

田植え時期で、水田に水が張っている状態だったことも原因の一つだと思うが、崩口川の上流域（丹原）からの排水が集中するため、水位が上がってきたと思われる。
現在、周布地区では国営ほ場整備事業を進めており、区画整理と併せて農業用排水施設の整備を行っている。
これまでに幹線排水路の工事に着手し、崩口川放流工が完成し、令和6年度は放流工からミニストップ前県道までの間を工事する予定である。以降の工事スケジュールは未定だが、整備後は崩口川への負荷が軽減されるので、まずは地域のリーダーに知っていただきたい。
併せて、県が崩口川の未護岸箇所の整備を進めており、令和8年度に完成予定であることをお伝えさせていただく。
中山川が、想定される最大規模で氾濫した場合は、周布地区全域が浸水することを知っていた上で、丹原地区など周布地区以外への避難を検討してほしい。

浸水した時、周布地区内での避難が難しいことがわかった。
地区内の半数の人だけでも避難できるように、50年先を見据えて都市計画をやっていくべきではないか。

避難経路は、洪水ハザードマップを参考にしながら考えていただきたい。浸水区域外の避難所に避難することが原則であるが、それが間に合わない場合は、建物の2階以上に上がる垂直避難をしてほしい。
また、日頃から危険を予防する習慣が必要である。行政からも安全・安心情報お届けメールなど情報発信にも力を入れているので、キャッチしてもらいたい。
小学校においても、周布地区の避難場所として周布公民館、周布小学校、東予東中学校、東予高校、東予総合福祉センターがあるというようなことも教育してくださっていると思う。
子ども達への防災教育などソフト面の対応も継続していくことが大切だと考える。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
2 路面標示の塗り直し	
成龍酒造付近の道路の白線が薄くなっている ので、危険を感じる。 交通安全確保のために、早急に塗り直してほ しい。	外側線が消えかけているという声をよく聞 く。 職員も市内をパトロールしているが、まだ 目の届かない所が多いので、市民の皆さん から教えていただく仕組み「道路・公園等 異常通報システム」があるので、ぜひ活用 してほしい。もしくは西部支所の農林建設 課建設管理係まで連絡いただければ、現 地確認を行う。 今年度は対応予算を増額しているが、数 が多いので、優先順位をつけて対応して いきたい。 要望があった場所については、今年度修 繕予定としている。
3 公民館の改築	
東予地区では、周布公民館と吉井公民館 の築年数が古く、55年くらい経過してい ると思う。 公民館は地域みんなの心の拠り所で、サ ークル活動以外にも何か困ったことがあ れば集まる場所である。また、災害時に は避難所にもなる。 移設も含めて、改築をお願いしたい。	社会教育の場であり、避難所にもなるこ とを勘案すると、公民館機能がなくなると いうことは想定していないが、今後新た に土地を購入する形での再編整備は考え ていない。 神戸校区では、小学校の中に公民館機 能を入れる選択をして、現在計画を進め ている。 今後の人口減少も見据えて、検討し取 り組んでいきたいと考えている。
4 その他	
地域の活性化には、子ども達を育てや すいまちというのが一番だと思うが、高 齢化の問題もある。 高齢者にとっては、「住みやすく、安住 の地」であることが大切である。自治会 の構成員であることも大事な要因で、班 によっては、人数が減って総会もでき ず消滅しそうな状況にあることを知っ てほしい。 これらのバランスを見ながら市政を進 めてほしい。	地域の皆さんにとって、住み続けたい まちでなければいけないと思う。最近 では、コミュニティの希薄化や高齢化、 役員の固定化という声をよく聞く。 これらの対策として、「地域自治組織」 を提案している。地域の課題について、 自治会だけでなく、みんなで話し合っ て解決方法を考えていく。行政が押し 付けるものではなく、この地域をどの ようにしていくか、一緒に考えていき たい。